

第5回「みんなの食堂 赤い屋根」+子ども食堂 報告 2021/6/18 (金曜日)

1, メニュー

ポークソテー、もやしのナムル、サラダ、フルーツゼリー、オニオンスープ、ごはん



2, ご支援、ご協力いただいた皆様



アサヒ飲料様  
富士吉田市様提  
社会福祉協議会様

3, お持ち帰り品区分け作業



袋詰め



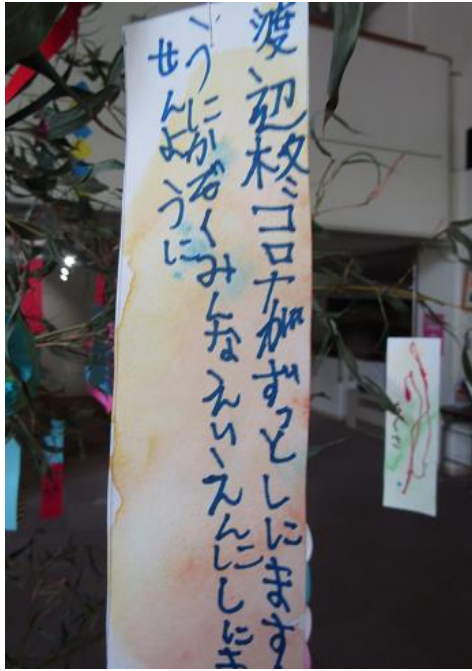
お持ち帰り用五目御飯パック詰め

#### 4, 食事風景



今日の献立は「ポークソテー・もやしのナムル・サラダ・フルーツゼリー・オニオンスープ  
・ごはん・リンゴジュース」おいしかった・・・！完食





県からの感染拡大防止協力要請期間中のため、コミュニケーション広場は中止  
参加者に七夕飾り短冊に願い事を書いてもらいました。

今回の子ども食堂には、「やまなし子育てサポートマガジン」Chibikko press の  
新津様が取材に訪れ、元気なちびっこを写真に収めていました。

LIFE STORY 地域でつながる暮らしの未来を

### みんなの食堂 赤い屋根

(NPO法人富士北麓まちづくりネットワーク)





七夕飾りの工作や二階の洗剤、パズルイベントなど多様な企画で子どもたちを楽しませます。



メニューは毎日ボリューム満点で好評。ご飯のおかわりも◎!



やまなしグリーン・ゾーン緑地を取材。安心して食事ができるように清潔な厨房にも力を入れています。



自治体や関係機関から提供された消費券や、寄付のお菓子やジュースなどの配布も行っています。

#### みんなで食事、みんなで団楽

##### 多世代が作る地域の食卓で子どもは育つ

「子どもたちが気軽に集い、子どもの育成に役立つ施設として地域に貢献したい」と、NPO法人富士北麓まちづくりネットワーク代表の原田勇夫さん。富士吉田市から指定管理を受けている青少年センター赤い屋根の施設を利用し、月に1回子ども食堂を開催しています。厨房は食生活改善推進員や食品衛生管理者など、地域ボランティアがまわります。ハンバーグやトンかつなどのメインに、サラダ・汁物・デザートなど、バランスを考えた献立が並びます。毎回50～80名の利用者と賑わうのだそう。食事の後のコミュニティ広場では、絵本のよみかきや工作、音楽やスポーツを楽しむながら自由に団楽することができます。「ゆっくり食事ができる分、子どもと過ごす時間ができて嬉しい」と、参加者のママ。子どもから高齢者まで、多世代につながる地域コミュニティの役割も担っています。



**みんなの食堂 赤い屋根**  
 開き時間 17:00～20:00  
 会場=富士吉田市立 青少年センター赤い屋根  
 対象=どなたでも  
 参加費=高校生以下無料、大人300円  
 TEL.0555-23-7252